

街の課題が多々あり、スーパー堤防の優先度は高い 補助283号線の新たな予算は起こしていない

執行部答弁
2月2日・建設委員会

「建設委員会傍聴記」

2月2日（月）午前10時から建設委員会が開かれ、冒頭、川口委員長（自民）は「陳情審査は本日と3月11日の2回のみ」と各委員らに伝え、審査に入りました。審査は平井2丁目の道路拡幅問題、篠崎地域での地質調査、妙勝寺の墓地移転、浅間神社移転に関する諸問題などが取上げられました。その後の北小岩地域に関する陳情についてお伝えします。

川口委員長（自民） では215号（スーパー堤防より内水氾濫対策をの陳情）の審査を願います。

小侯委員（共産） 陳情文には「区はスーパー堤防は出来る所からやる、内水対策よりも優先している」とあるが、優先順位はどうか決めてくれるのか。

土木部 内水か外水か、どちらが優先するか、ではない。生命に直結する点では外水だ。スーパー堤防はその意味で順位は高い。街の課題が多々ありそれと連携する。

小侯委員 江戸川が破堤したことはない。被害が起こっているのは内水ではないか。
土木部 区にとって内水、外水を含め治水対策は重要課題であることに違いはない。
川口委員長 本日は継続。次に216号（283号線拡幅反対の陳情）について。



都市計画道路補助283号線の計画図（点線）



9月10日の大雨で冠水した道路



新小岩駅も浸水。靴を脱いで帰宅する乗客

江戸川区スーパー堤防事業差止等請求訴訟 第1回東京地裁口頭弁論

期日：2015年2月25日（水）
午後4時（抽選：午後3時半）
場所：東京地方裁判所 103号法廷
交通：東京メトロ「霞ヶ関」下車
A-1出口 徒歩1分

国と区を被告に、スーパー堤防事業そのものの差止と、損害賠償を求める本丸裁判です。裁判勝利のため、多くの傍聴者で法廷を埋めましょう。

小侯委員 283号線拡幅は重要整備計画に入っていたが、27年度予算に入っていないのはなぜか。

土木部 言われる通り予算化していない。いつやるかは固まっていなかったから。平成28年度からの10年間でネットワーク化を含め検討して行く。従って今は未検討だ。

小侯委員 住民の意向があればやらない、と言うこともあるのか。

土木部 これまで中間時点でパブコメ等で計画を反映させることはやってきた。それを踏襲して行く。

小侯委員 第4次計画について動きがないことと、意見が反映されることを確認させてもらってほっとしている。

川口委員長 本日は継続とする。